

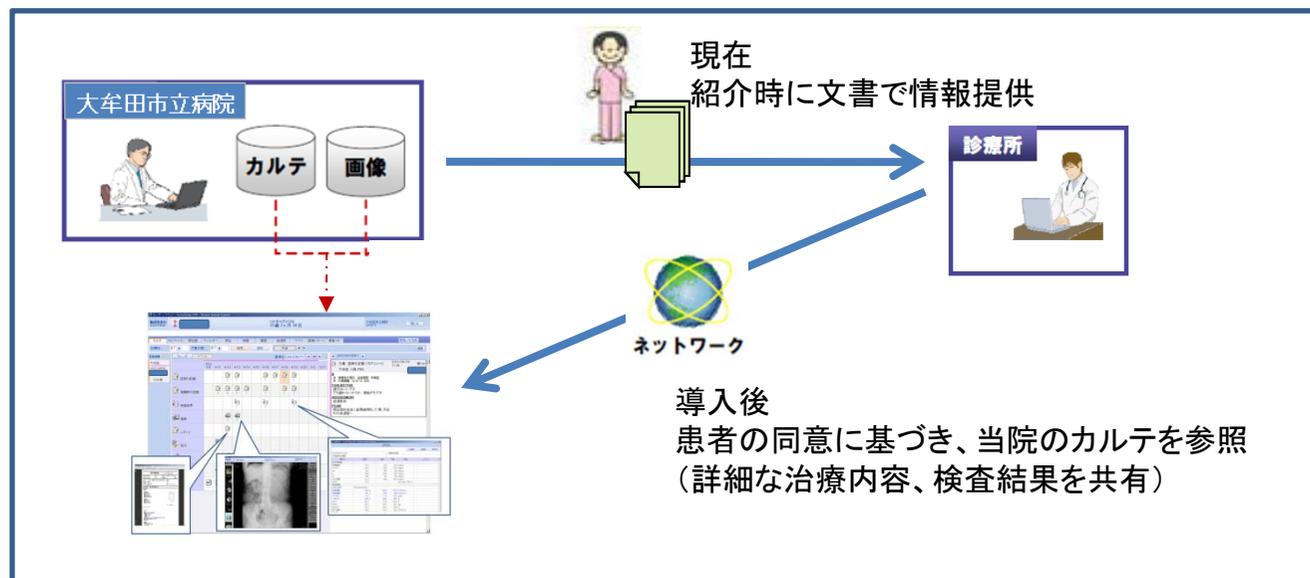
大牟田市立病院地域医療連携システム(通称:ありあけネット)(H24年10月22日～)の概要

患者の同意のうえ、当院が保有する電子カルテ情報を連携医療機関へ参照可能とする。

利用までの流れ

- ①参照を希望される医療機関は、当院へ利用申請を行う(随時)10日～2週間必要
- ②利用者登録設定(ネットワーク接続アクセス権、ソフトウェア利用権限)
- ③紹介時に患者へ本システムの説明を行い、同意を得る
- ④同意を得た患者の連携医療機関へのカルテ参照設定
- ⑤連携医療機関での利用開始

【イメージ図】



操作概要

導入設定は、マニュアル参照により比較的簡単に設定できます。当院から、設定に伺うことも可能です。

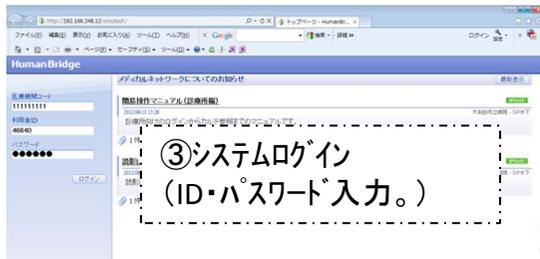


①ネットワークに接続
(ID・パスワード入力。
2回目以降は
省略可)

※接続中は、インターネット、メール送受信はできません。



②設定時に作成された
デスクトップ上のショートカット
をよりシステム起動



③システムログイン
(ID・パスワード入力。)



④貴院にて参照可能な患者さんが
一覧表示。該当患者をクリック

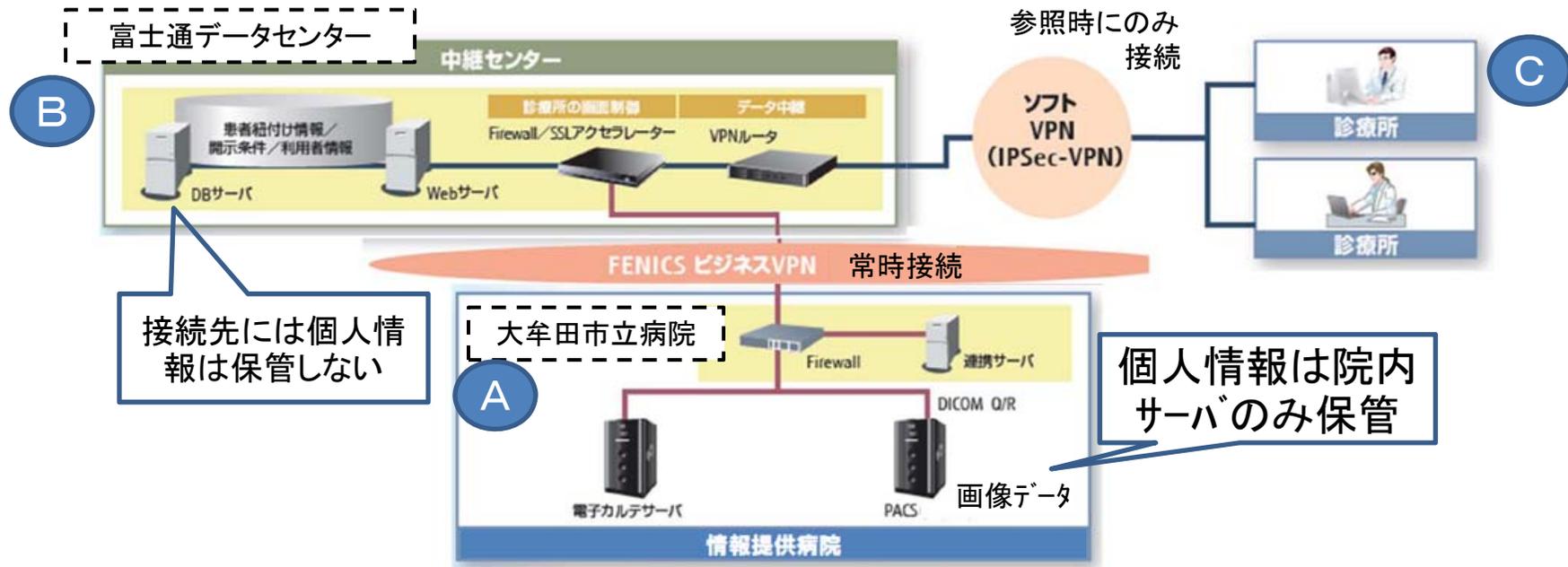
カルテ参照画面

The main screenshot shows the HumanBridge EHR interface. At the top, it displays the patient's ID, name (大牟田), age (69), and date of birth (1942年08月14日). The main area is a calendar view for the month of August 2012, with a grid showing various medical events like '検査結果' (Lab Results), '放射線' (X-ray), '内視鏡' (Endoscopy), '処方' (Prescription), '注射' (Injection), and '処置' (Procedure). A detailed view of a lab result is shown on the right, titled '依頼 検査結果(一般細菌検査)'. Below the calendar, there are two inset screenshots: one showing a '下部内視鏡検査' (Lower Endoscopy) report with a diagram of the colon, and another showing an X-ray image of the abdomen.

【セキュリティの確保について①】

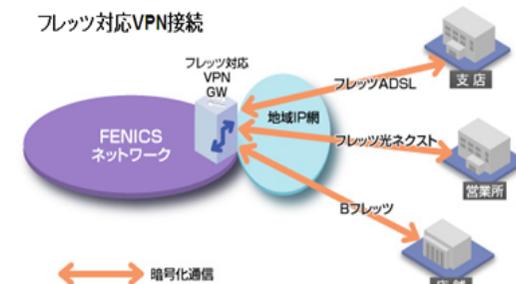
システム接続構成概要

厚生労働省の「医療情報システムの安全管理に関するガイドライン第4.1版」に準拠した安心・安全のネットワークにて各医療機関を結びます。許可された利用者が閲覧することにより当院に設置された「連携サーバ」が診療情報を抽出し、富士通データセンターで集約され表示されます。



FENICS(フェニックス)とは

富士通が提供する企業向けネットワークサービス「FENICS(フェニックス)」とは、「Fujitsu Enhanced Information and Communication Services」の略称であり、富士通が提供する企業向けネットワークサービスの総称です。



【セキュリティの確保について ②】

- ・接続は、セキュリティーが担保された、専用回線に準じた接続を行う(接続時には、他のホームページなどの参照は不可能)
- ・ID,パスワードは、個人専用とし、6か月ごとに強制的に変更を要求する
- ・診療情報については、参照のみとし、参照終了後は、参照側のパソコンに利用の痕跡を残さない
- ・当院のシステムと利用者のパソコンの中間に位置するデータセンターは、個人情報には保存せず、接続するための手順や、セキュリティーシステム、参照側のパソコンに表示するソフトウェアなどを提供する

【利用の留意事項】

✓利用者規定をよくお読みください。規定を遵守して下さい。

✓参照できる主な内容

①各種検査結果(レポート)②放射線画像 ③処方歴

④基礎疾患 ⑤医師、看護師の記録など

※現在、眼科のカルテは参照できません(改善検討中)。

✓ご不明な点は、事務局までお問い合わせ下さい。

対応時間: 平日8:30~17:00

電 話: 0944-53-1061

<事務局>

平成24年10月22日

大牟田市立病院

地域医療連携室